

lecture of haborogy

はぼろ学講座

あなたはどれだけ
はぼろのことを知っていますか？

最終回

はぼろ学講座は「羽幌の成り立ち、自然・動植物、生活・文化を総合的に学び、羽幌町を訪れるお客様にまちを紹介出来る人材を育成すること」を目指しています



はぼろ学講座修了式

はぼろ学講座修了式とはぼろ検定合格証授与式が、平成19年4月17日午後7時より中央公民館3階視聴覚室で行われ、受講生と一般町民23人が出席しました。

羽幌町の良さを紹介できるボランティアガイドの養成と、地元を見直し再認識する機会として始まったはぼろ学講座は、天売・焼尻・羽幌の自然と文化・歴史、めん羊の歴史、鉄道の歴史、羽幌の山、炭鉱跡地、人との接し方など、多岐にわたる内容で18回行われ、登録受講生は75人、講師15人、一般参加者も含め延べ7

45人がはぼろ学を受講しました。

全18回の講座のうち3分の1以上の講座を受講された45人には修了証が手渡され欠席された方には郵送されました。

受講生の中に、ただ一人18回すべての講座を受講した方もおり、皆勤証と記念品が贈られました。惜しくも皆勤とならなかった5人にも準皆勤証と記念品が贈られました。

また、3月末のはぼろ検定に合格した方々にもひとり一人合格証が手渡されました。ガイド登録を希望した12人の町民の方は、再度色々な勉強をしていただき、ボランティアガイドとして将来デビューすることに

なります。

修了式のあと、事務局より19年度のはぼろ学講座の運営について提案があり、町民が中心となる実行委員会形式で開催を検討することになりました。

はぼろ学講座の連載は今月で最後となりますが、これからも様々な形で羽幌の良さを紹介していきたいと思っています。今までどうもありがとうございました。



▶たくさんの受講生が出席した修了式では、大波町課長から一人ひとりに修了証書や合格証書などが手渡されました。